

第 17 回日本肺癌学会肺癌ワークショップ
<世話人挨拶>

大いに議論しよう

下 方 薫

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座
機能調節内科学分野（呼吸器内科）

肺癌学会の夏のイベントである，第 17 回日本肺癌学会肺癌ワークショップが 2002 年 7 月 13 日（土）に名古屋で開催され，世話役を務めさせていただきました．今回の主題は「EBM に基づく肺癌診療の Pros and Cons」としました．現在，臨床の場で問題になっている諸問題を取り上げ，一つひとつ，エビデンスに基づく討議を行い，今後のあるべき日常診療の指針としたいと考えたからであります．

現在臨床の場で問題となっている 6 つの問題を Pro と Con の対立する命題として提起し，各々に討論者を立てました．いずれも日本を代表する若手の論客をお呼びしましたので，理論の刃が交わるスリリングな debate が繰り広げられました．また，討論の行司役は，エビデンスに基づく客観的な評価を行い，debate の結論をまとめていただける，「光る」人材をお願いしました．

こうした討論の約束事として，Pro，Con の各々の立場に立った討論者は，個人的な見解をひとまず離れることが要請されます．あくまで，それぞれの役割に基づく主張を補強する立場からエビデンスを批判的に評価し，日常臨床で推奨できるかを判断した上で，論旨を展開していただくようお願いしました．従って，このセミナーでの各討論者の主張が個人的な見解と異なる場合があることをご理解下さい．

こうした形式の討論の場が持てることは，多くの比較試験が積極的に行われてきた臨床研究の成果に他なりません．肺癌の領域に関しては，日本からの情報発信もこれに大きく寄与してきました．このことは，日本の臨床医学研究の中でも特筆すべきことと信じて疑いません．

今回のワークショップの内容を学会の機関誌「肺癌」に掲載することができました．内容をお読みいただければ，討論者や司会の先生方の熱い議論を受け取っていただけることと思えます．大いに議論しようという趣旨が生かされたものと考えております．